



“地域のことは地域で考えよう”

2017年7月27日

おきぎん県内景況・速報 2017年6月

— 県内景況は、拡大している —

■個人消費

スーパー売上高は全店ベースで前年同月並みとなる。既存店ベースでは前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2017年6月分)

◎2017年6月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

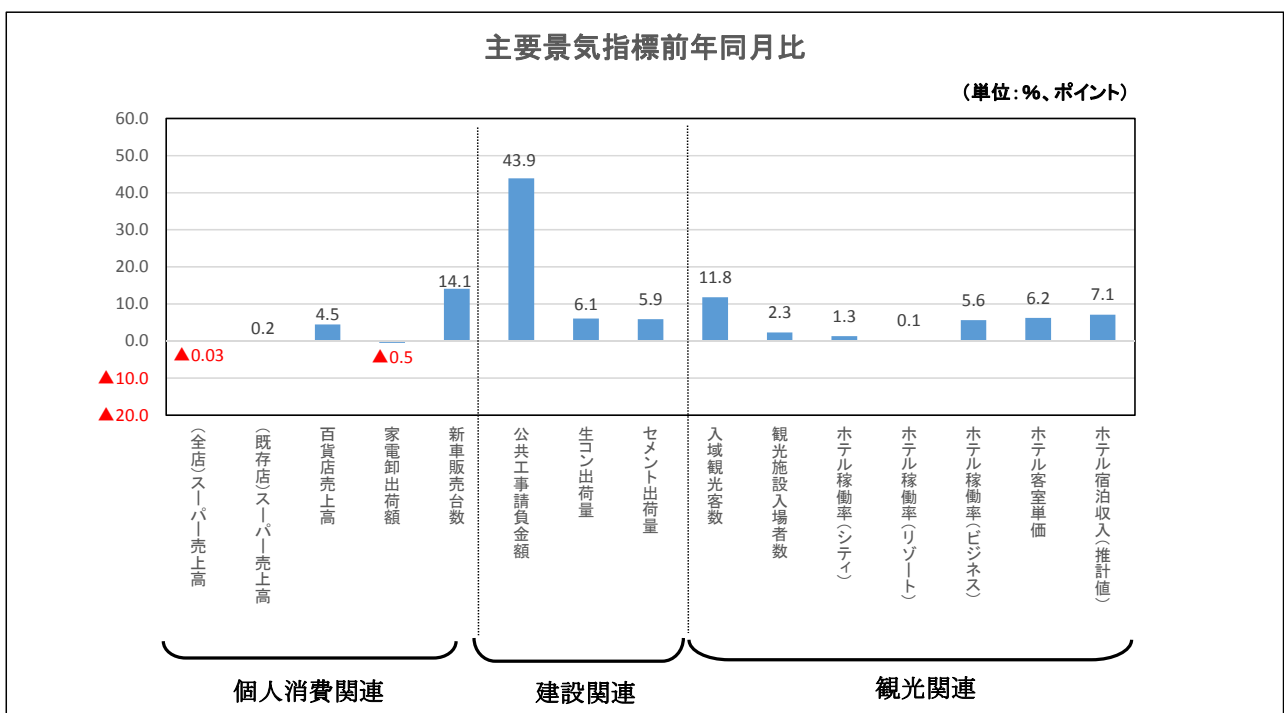
6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースで前年同月並み、既存店ベースでは前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品や雑貨が伸び、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンなどが減少し、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車の需要増加により、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国やその他の公共的団体発注による大型工事などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は57ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から41ヵ月連続で判断維持)



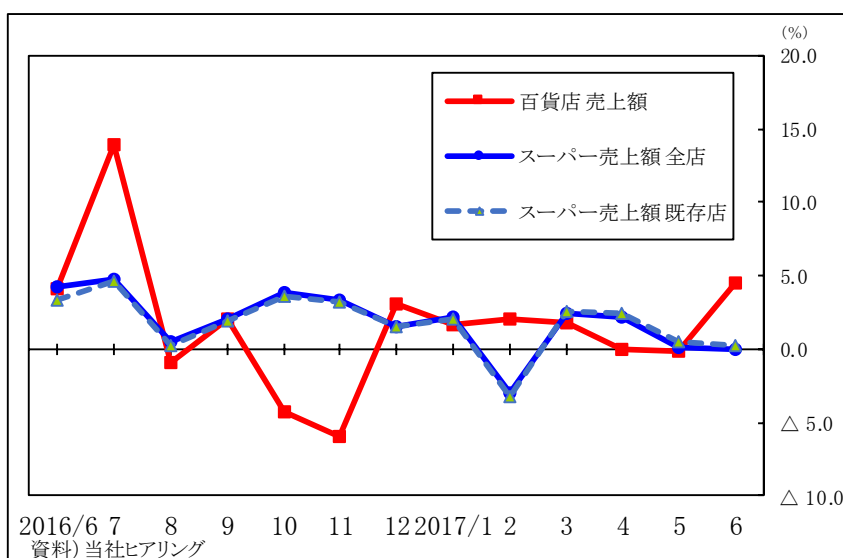


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベースで前年同月並みとなる。
既存店ベースは前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2016/6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0
10	3.8	3.6	△ 4.3
11	3.4	3.2	△ 5.9
12	1.6	1.5	3.1
2017/1	2.2	2.0	1.7
2	△ 3.0	△ 3.2	2.0
3	2.4	2.6	1.8
4	2.2	2.4	△ 0.02
5	0.1	0.5	△ 0.1
6	△ 0.03	0.2	4.5

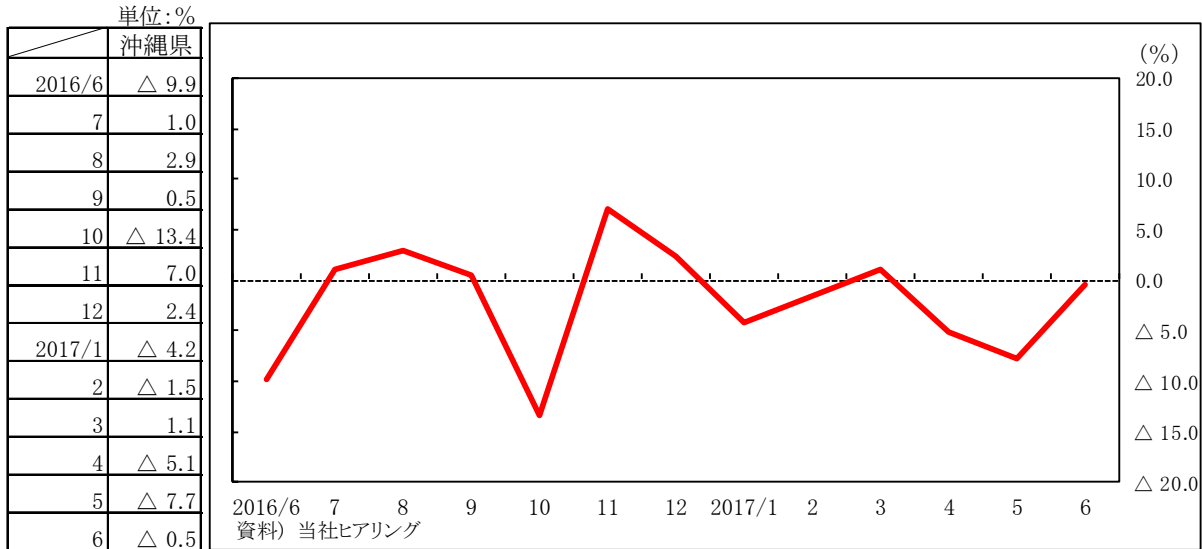


注) 前年同月比

6月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 0.03%減)」はウェイトの高い「食料品(同 1.1%増)」の売れ行きが伸びたものの、「衣料品(同 3.6%減)」や「家庭用品(同 3.0%減)」の需要が伸びず、前年同月並みとなりました。「既存店ベース(同 0.2%増)」では、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 1.5%増)」は、生鮮の売れ行きが堅調に伸び、前年同月を上回りました。一方で家電を含む「家庭用品(同 2.9%減)」は、平均気温が昨年ほど上がらなかったことから、エアコンなどの売れ行きが低調で前年同月を下回りました。「衣料品(同 3.6%減)」も夏物の需要が伸びず、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、「食料品」や「雑貨」などの売れ行きが堅調に伸び、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 4.5%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 2.5%減)」は、「婦人服(同 3.1%減)」の販促企画などが不調で、前年同月を下回りました。一方で、「食料品(同 13.4%増)」や「家庭用品(同 10.4%増)」は、物産催事企画などにより売れ行きが伸び、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 12.9%増)」も、継続的なインバウンド需要により前年同月を上回りました。

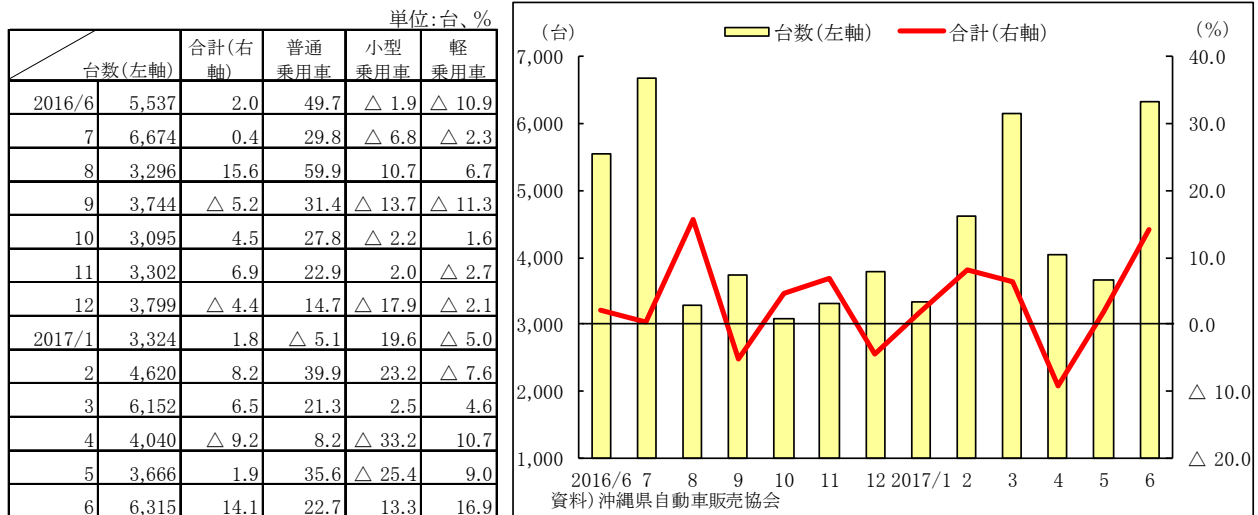
②家電卸出荷額…エアコンの売上減少などにより前年同月を下回る。



注)前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンの売上減少などにより、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 0.5%減)。品目別では、高価格帯商品の売れ行きが伸びた「テレビ(同 51.6%増)」や「洗濯機(同 11.9%増)」、「冷蔵庫(同 4.2%増)」が好調だったものの、「エアコン(同 12.6%減)」は、気温要因などで水準の高かった前年の反動などから前年同月を下回りました。

③新車販売台数…普通乗用車、軽乗用車の需要増加などから前年同月を上回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で6,315台(同 14.1%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、レンタカー需要の伸びなどにより、「普通乗用車(同 22.7%増)」は5ヵ月連続、「小型乗用車(同 13.3%増)」は3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 16.9%増)」は、軽自動車税増税の影響等により落ち込んだ前年の反動から、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

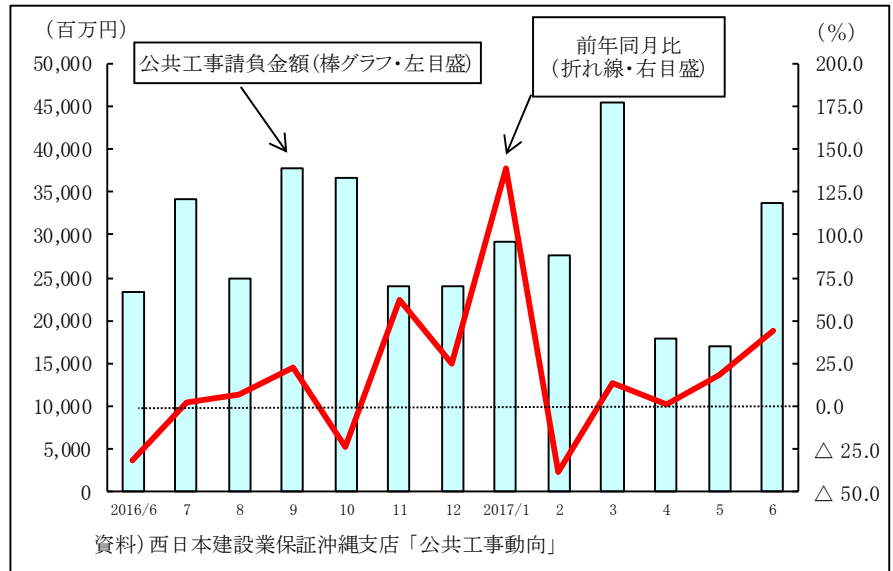


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2016/6	23,421	△31.8
7	34,156	2.0
8	24,997	7.0
9	37,867	22.8
10	36,683	△24.1
11	24,026	62.2
12	23,920	25.1
2017/1	29,148	138.9
2	27,499	△38.6
3	45,553	14.0
4	17,823	0.7
5	16,886	18.4
6	33,703	43.9

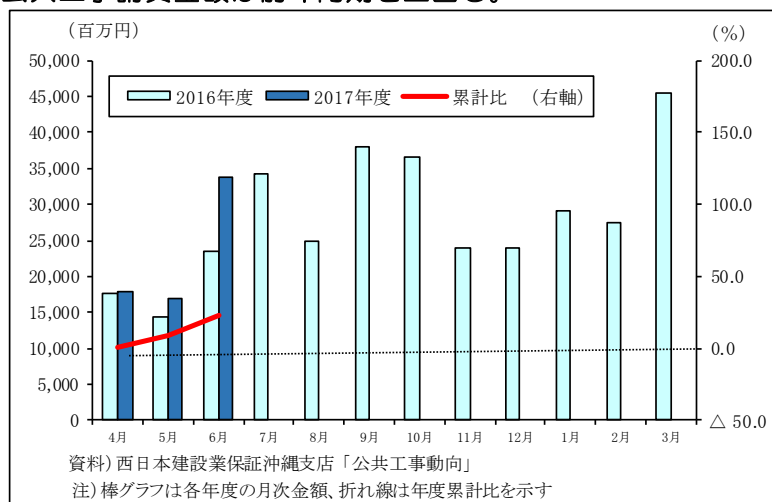


6月の公共工事請負金額は、前年同月比43.9%増の337億300万円となりました(4ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同98.1%増)」は沖縄防衛局のシュワブ関連工事や那覇空港滑走路増設工事などの大型工事、「独立行政法人等(同31.4%増)」は沖縄自動車道関連工事、「市町村(同7.6%増)」は南大東村での区画整理工事、「その他の公共的団体(同787.3%増)」は那覇港総合物流センター(仮称)新築工事の大型工事などで前年同月を上回りました。一方で、「沖縄県(同34.9%減)」は前年にあった本部港防波堤工事の反動などで前年同月を下回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

単位:百万円、%

	2016年度	2017年度	累計比(右軸)
4月	17,690	17,823	0.7
5月	14,261	16,886	8.6
6月	23,421	33,703	23.5
7月	34,156		
8月	24,997		
9月	37,867		
10月	36,683		
11月	24,026		
12月	23,920		
1月	29,148		
2月	27,499		
3月	45,553		

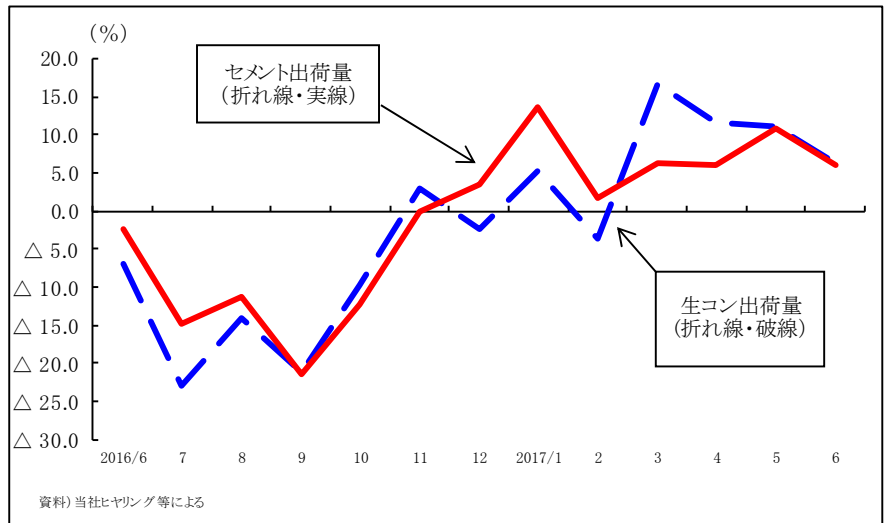


今年度4月～6月までの累計を前年度同期と比較すると、23.5%増となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに同年同月を上回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2016/6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4
11	3.0	△ 0.1
12	△ 2.4	3.5
2017/1	5.1	13.5
2	△ 3.7	1.6
3	16.5	6.3
4	11.6	6.1
5	11.1	10.7
6	6.1	5.9



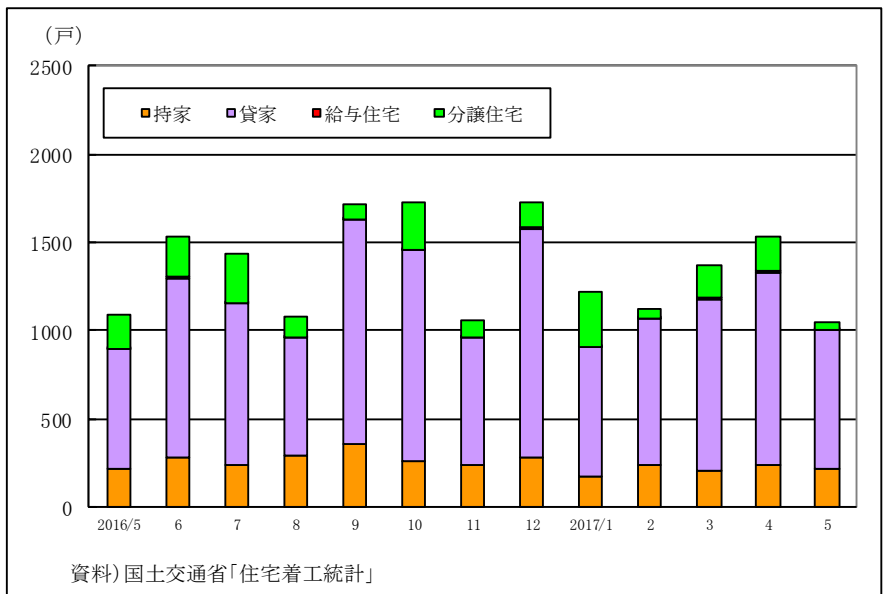
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は 6.1%増と 4 ヶ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 26.6%上回り、民間工事向け出荷は 4.1%下回りました。セメント出荷量は 5.9%増と 7 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(5月)…着工戸数は前年同月下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2016/5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2
10	1,731	54.8
11	1,057	△19.1
12	1,728	32.3
2017/1	1,215	△11.1
2	1,125	12.5
3	1,375	29.5
4	1,528	8.4
5	1,048	△3.4

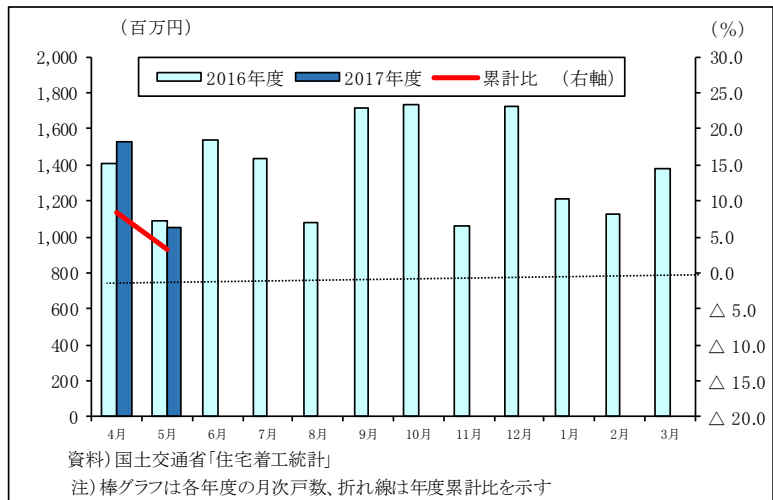


新設住宅着工戸数 (5月) は、全体で前年同月比 3.4%減の 1,048 戸と 4 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家 (同 14.1%増)」や「持家(同 3.3%増)」、「給与住宅(同 600.0%増)」は前年同月を上回り、「分譲住宅(同 77.7%減)」は下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）…前年同期を上回る。

単位:百万円、%

	2016年度	2017年度	累計比 (右軸)
4月	1,409	1,528	8.4
5月	1,085	1,048	3.3
6月	1,535		
7月	1,432		
8月	1,082		
9月	1,714		
10月	1,731		
11月	1,057		
12月	1,728		
1月	1,215		
2月	1,125		
3月	1,375		



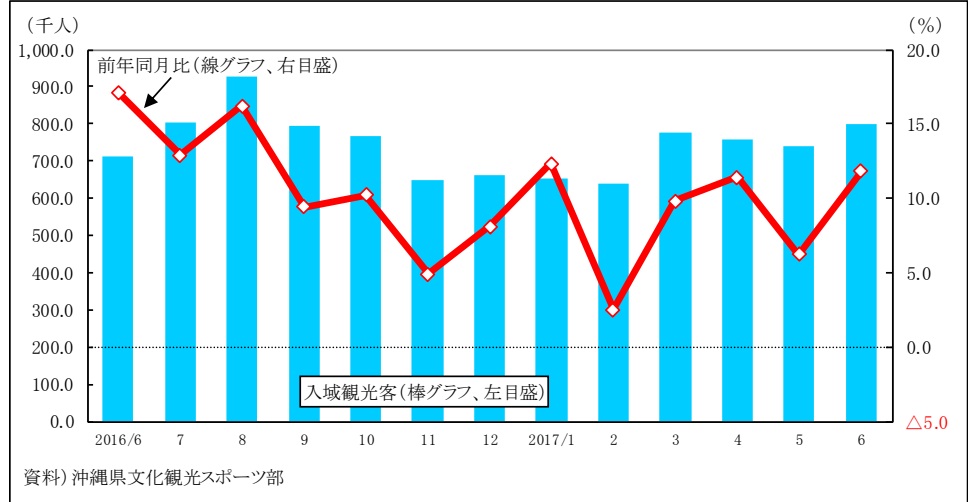
年度累計で見ると、3.3%増となっています。(上記折れ線グラフ)



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…57ヵ月連続で前年同月を上回る。

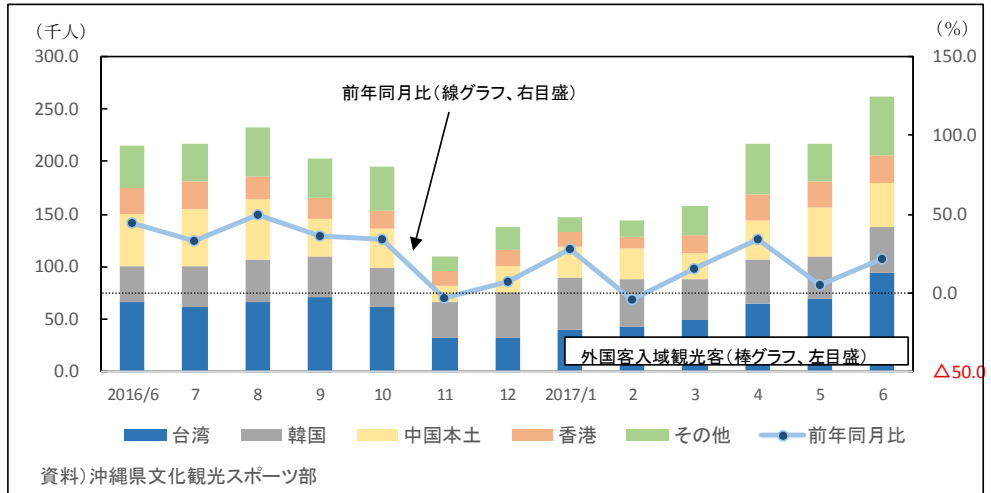
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2016/6	714.4	17.1
7	805.8	12.9
8	926.9	16.2
9	793.0	9.4
10	767.9	10.2
11	650.2	4.9
12	663.0	8.1
2017/1	653.0	12.3
2	637.9	2.5
3	778.5	9.8
4	759.2	11.4
5	740.6	6.2
6	798.8	11.8



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2016/6	215.9	44.7
7	217.3	33.3
8	232.0	50.0
9	203.4	36.0
10	194.7	34.2
11	110.2	△ 2.8
12	137.2	6.9
2017/1	147.2	28.1
2	144.1	△ 3.9
3	158.4	14.9
4	217.6	34.2
5	216.8	5.0
6	261.5	21.1



※外国客は乗務員等を含む

6月の入域観光客数は、84,400人多い798,800人(前年同月比11.8%増)となり、57ヵ月連続で前年同月を上回りました(6月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同7.8%増)」は537,300人と、新規就航(名古屋ー宮古)を含む航空路線の拡充(増便、提供座席数増加等)効果に加え、各旅行会社や航空会社による販売取組の強化(先行割引航空券の販売等)などにより需要が好調に推移したことなどから、15ヵ月連続で前年同月を上回りました。

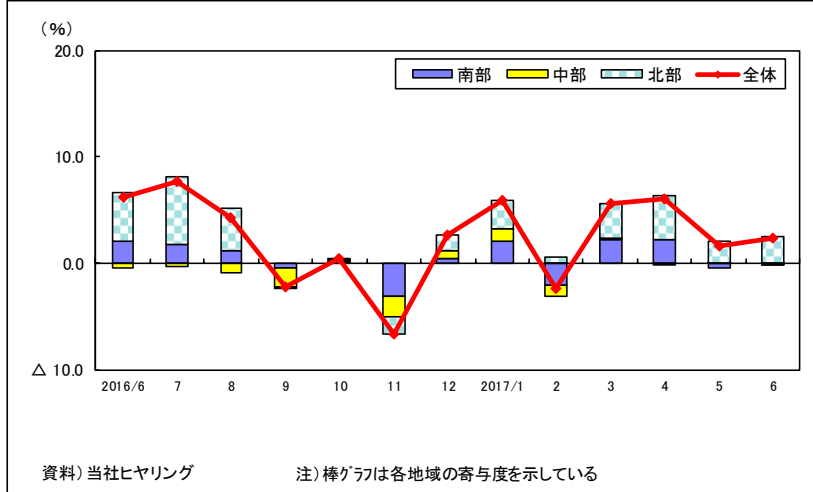
他方、「外国客(同21.1%増)」は、261,500人と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(高雄ー那覇路線の増便等)効果やクルーズ船の寄港回数増加等により、空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同41.1%増)」「韓国(同26.9%増)」「中国本土(同14.1%減)」「香港(同4.9%増)」

※乗務員等を除く2017年6月実績＝全体762,500人(同11.5%増)、外国客225,200人(同21.3%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…4ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2016/6	6.2	5.2	△ 3.6	9.2
7	7.7	5.1	△ 3.1	11.8
8	4.3	3.5	△ 6.9	7.3
9	△ 2.3	△ 1.3	△ 15.0	△ 0.1
10	0.4	0.3	0.9	0.4
11	△ 6.7	△ 7.4	△ 14.2	△ 3.7
12	2.7	1.1	5.0	3.5
2017/1	5.9	5.4	8.9	5.5
2	△ 2.4	△ 5.6	△ 7.6	1.3
3	5.6	5.6	1.6	6.7
4	r 6.1	5.8	r △ 1.8	8.5
5	r 1.5	△ 1.2	r 0.04	4.2
6	2.3	△ 0.2	△ 1.3	5.0

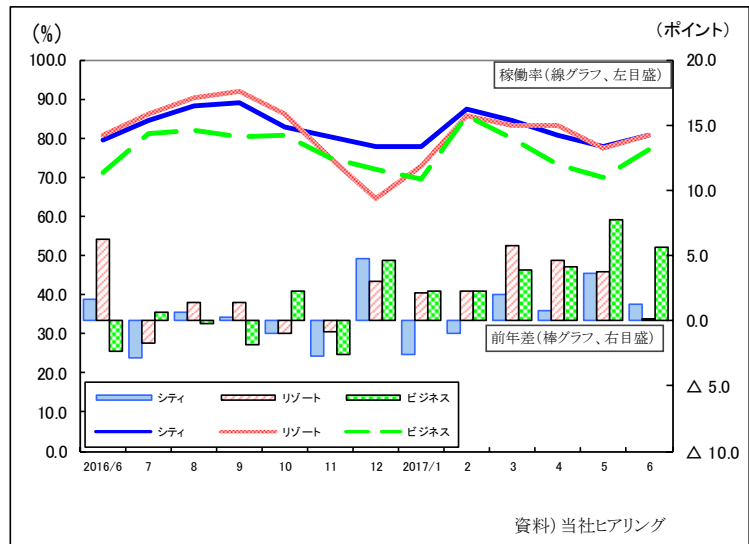


※調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 2.3%増加(4ヵ月連続)しました。地域別にみると、北部にある観光施設は同 5.0%増と7ヵ月連続で前年同月を上回り、南部は同 0.2%減と2ヵ月連続、中部は同 1.3%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2016/6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3
7	84.4	86.2	81.3	△ 2.8	△ 1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△ 0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△ 1.8
10	82.9	86.2	80.9	△ 1.0	△ 1.0	2.3
11	80.2	75.1	75.0	△ 2.7	△ 0.9	△ 2.6
12	77.6	64.4	72.0	4.8	3.0	4.6
2017/1	77.9	73.0	69.6	△ 2.6	2.1	2.3
2	87.3	85.6	85.7	△ 1.0	2.3	2.3
3	84.3	83.0	79.8	2.0	5.7	3.9
4	80.9	83.1	73.4	0.8	4.6	4.1
5	77.8	77.2	69.9	3.6	3.7	7.7
6	80.9	80.8	76.9	1.3	0.1	5.6



注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

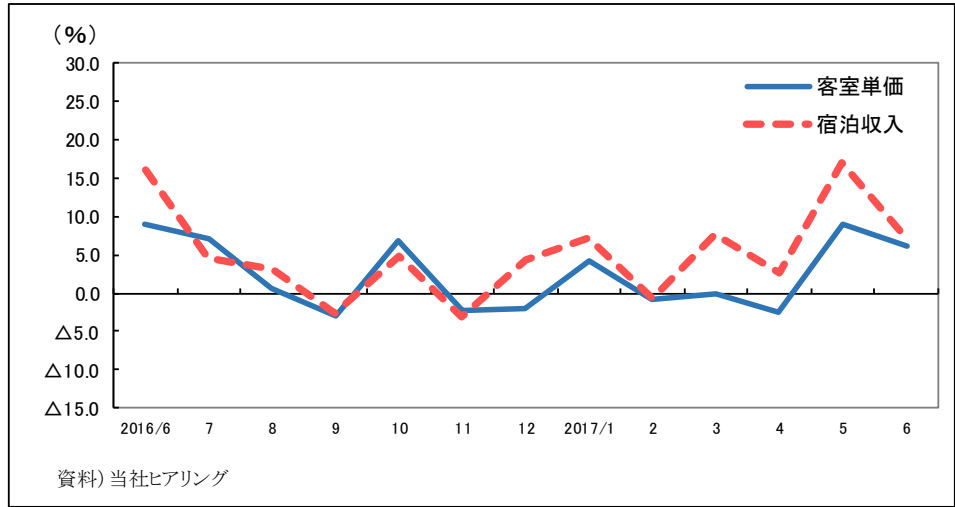
注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが 80.9%と 1.3 ポイント増加(4ヵ月連続)、リゾートホテルが 80.8%と 0.1 ポイント上昇(7ヵ月連続)、ビジネスホテルが 76.9%と 5.6 ポイント上昇(7ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %		
	客室単価	宿泊収入
2016/6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5
10	6.8	4.9
11	△2.2	△3.0
12	△1.9	4.3
2017/1	4.2	7.1
2	△0.8	△0.6
3	△0.2	7.7
4	△2.6	2.6
5	9.1	17.0
6	6.2	7.1



※対象施設数: 27施設 (シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更 (10⇒9) となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更 (19⇒18) となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 6.2%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同7.1%増と前年同月を上回りました。

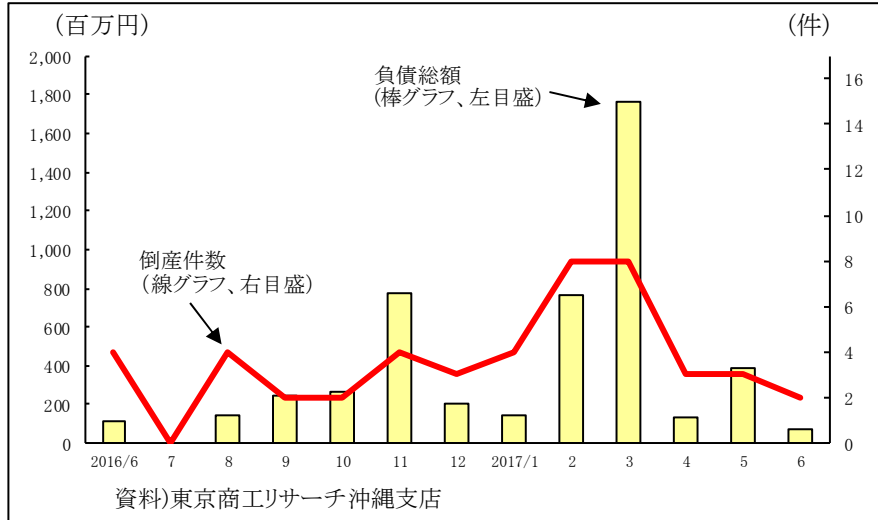


■企業倒産: (やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2016/6	110	4
7	0	0
8	143	4
9	240	2
10	270	2
11	770	4
12	200	3
2017/1	141	4
2	760	8
3	1,766	8
4	130	3
5	391	3
6	70	2



6月の企業倒産件数は、2件(うち大型倒産、大口倒産ともになし)となり、前年同月より2件(50.0%減)少なくなりました。負債総額は7,000万円となり、前年同月より36.4%減少しました。

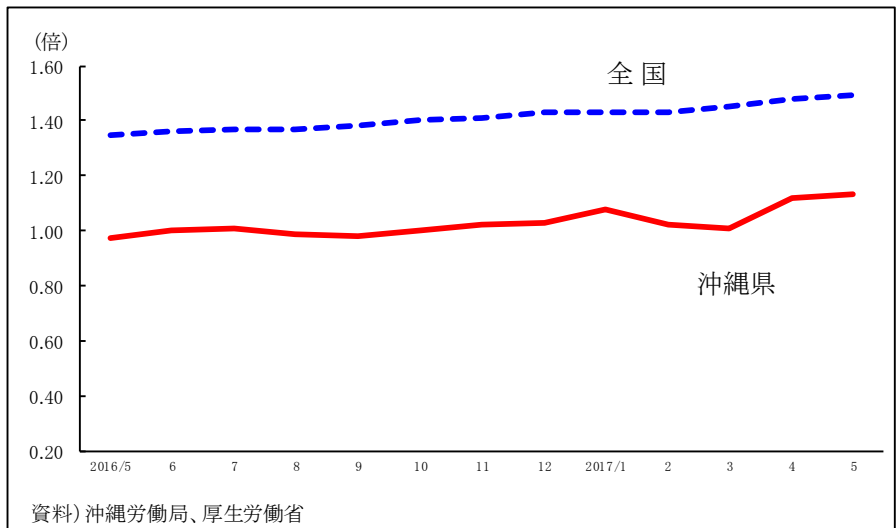


【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(5月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2016/5	0.97	1.35
6	1.00	1.36
7	1.01	1.37
8	0.99	1.37
9	0.98	1.38
10	1.00	1.40
11	1.02	1.41
12	1.03	1.43
2017/1	1.08	1.43
2	1.02	1.43
3	1.01	1.45
4	1.12	1.48
5	1.13	1.49



注) 季節調整済

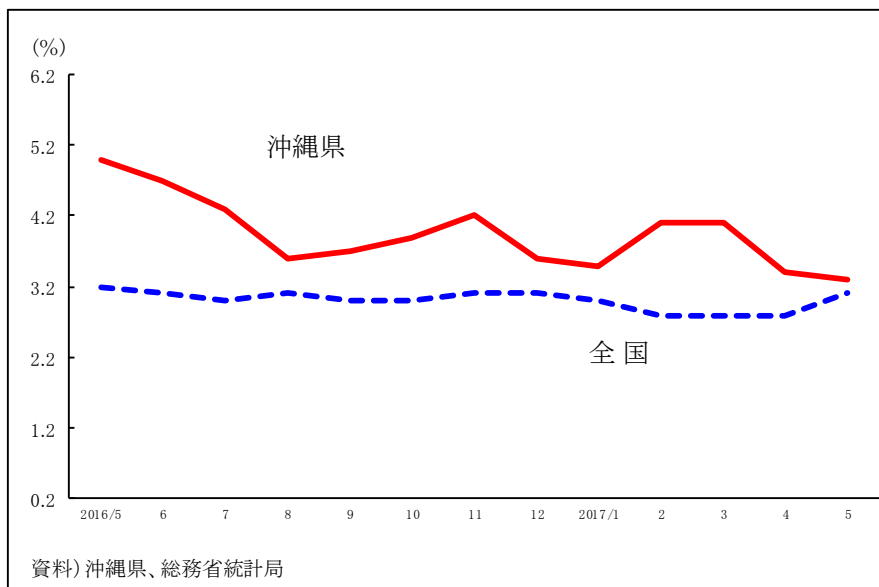
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.8%増の28,481人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.9%減の25,209人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.13倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(5月)…沖縄は前月より低下、全国は上昇。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2016/5	5.0	3.2
6	4.7	3.1
7	4.3	3.0
8	3.6	3.1
9	3.7	3.0
10	3.9	3.0
11	4.2	3.1
12	4.2	3.1
2017/1	3.5	3.0
2	4.1	2.8
3	4.1	2.8
4	3.4	2.8
5	3.3	3.1

注) 季節調整済



5月の完全失業率(季節調整値)は、3.3%となり前月より0.1ポイント低下しています。